

型番 : OT-FTD17AK

(家庭用)

この度は本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

地デジTVチューナー搭載 17型液晶付 DVDプレーヤー

取扱説明書



<必ずお読みください>

電気製品は安全の為に注意事項を守らないと、重大な事故が起きる場合があります。この取扱説明書には、事故を未然に防ぐ為の重要な事項や取扱い方法を明示しております。本書をよくお読みの上、安全にご使用くださいますようお願い申し上げます。

※本書はいつでも見られる場所へ大切に保管してください。

目次

はじめに	
安全上の注意	3-6
付属品リスト	7
各部名称（本体／リモコン）	8-9
リモコンについて	10
機器の準備	
設置する	11
電源の接続／状態表示ランプ	12
外部機器の接続／入力ソース切換	13
機器の調整（機器設定メニュー）	14
外部メディアについて	15
再生可能ディスク（DVD/CD）	16-17
機能①-1 地デジテレビ	
B-CAS カードの準備	18
アンテナの準備	19
放送局（CH）の登録	20-21
アンテナ受信レベル	22
基本的な使い方	23-24
電子番組ガイド（EPG）の利用	25
TV モード設定メニュー	26
機能①-2 「録画」の機能や操作	
録画機能について（録画時間の目安）	27
録画用メディアの準備／確認	28
「録画」に関する機能の利用	29-32
機能② DVD/CD プレーヤー	
ディスクの再生	33-35
主なリモコン操作／機能	36
機能③ メディアプレーヤーソフト	37-38
リモコンの主なボタン操作	39-41
トラブルシューティング	42-44
内蔵充電池について	45
製品仕様	46
その他（各種注釈や免責など）	47-48
アフターサービス／保証規定	48-49

はじめに

安全上の注意

- ご使用前に当項「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 当項に明示された事項（「警告」「注意」）は安全に関する重大な内容が記載されておりますので必ずお守りください。
- 当項に明示された事項を守らず故障や不具合が発生しても保証は適用されず、当社では一切の責任を負いません。

■表示の説明

表示	表示の意味
 警告	“ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症（*1）を負うことが想定されること” を示します。
 注意	“ 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること” を示します。

(*1) 重症とは失明やケガ、やけど（高温／低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期通院を要するものをさします。

(*2) 傷害とは治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。

(*3) 物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害をさします。

■図記号の例

図記号	図記号の意味
	“  ” は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は指示行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制事項の内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。

異常／故障のとき

 **警告**

発煙や異臭がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。発煙がおさまったことを確認し、お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。



電源プラグ
を抜く

内部に水や異物が入った場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



電源プラグ
を抜く

製品の落下やキャビネットの破損がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



電源プラグ
を抜く

コード部分の損傷や電源プラグの異常な発熱がおきた場合、すぐに電源を切り、プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜くこと

そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



電源プラグ
を抜く

はじめに

安全上の注意

設置されるとき	⚠ 警告
お風呂、シャワー室、キッチンなど、水のかかる恐れのある場所には設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。	 指示
電源プラグは先に本体に接続してからコンセントに接続すること 電源コードは付属されている本機専用のコードを使用すること 接続順を逆にしたり、付属品以外の物を使用した場合、火災や感電の原因となる場合があります。	 指示
お風呂、シャワー室、キッチンなど、水のかかる恐れのある場所には設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。	 禁止
機器や付属品の上に物を置かないこと 金属類、液体が入ったもの（花瓶、コップ、化粧品など）、重いものなどを機器の上に置くと、機器の破損、火災、感電、ケガなどの原因となる場合があります。	 上載せ 禁止
ご使用されるとき	⚠ 警告
改造・分解・修理などおこなわないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 点検や修理はお買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご依頼ください。	 分解禁止
端子部や通気口などから異物を入れないこと 金属類、紙類、ほこりなどが内部に入るとショートして火災や感電の原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 異物挿入 禁止
雷が鳴りだしたら、本機およびアダプター等には触れないこと 感電の原因となる場合があります。	 接触禁止
コード類（電源コード、接続コードなど）は 「傷をつける」「延長などの加工を施す」「加熱する」「引っ張る」「無理に曲げる」 「ねじる」「束ねる」「重い物を載せる」などの行為をおこなわないこと コード内部で断線やショートして、火災や感電の原因となる場合があります。	 禁止
お手入れについて	⚠ 警告
電源プラグの刃や刃の取付け面、コンセントの差込部分にゴミやほこりが付着している場合は、プラグを抜きしっかり取り除くこと 電源プラグの絶縁低下により、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。	 指示

はじめに

安全上の注意

設置されるとき	 注意
温度の高い場所に設置しないこと 直射日光の当たる場所や締め切った自動車内や暖房機器周辺などに置くと、火災や感電の原因となる場合があります。また機器や部品の劣化、破損する恐れがあります。	 禁止
湿気、油煙、ほこりの多い場所に設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 また機器や部品の劣化、腐食、変形、破損する恐れがあります。	 禁止
風通しが悪い（換気できない）場所に設置しないこと 内部の温度が上昇し、ショート、故障、火災の原因となる場合があります。 特に「壁に押し付ける」「押入れや本棚に設置する」 「布や紙など引火しやすい物の付近に設置する」 などの行為をおこなわないこと	 禁止
設置場所を移動する場合、電源プラグや接続コードは外すこと プラグやコードを抜かずに運ぶと、コード類が傷つき、断線や故障、火災、感電の原因となる場合があります。また転倒によりケガをする恐れがあります。	 指示
ご使用されるとき	 注意
電源プラグを抜く場合、コード部分を引っ張らないこと コードを引っ張ると、コードが傷つき、断線、ショート、火災、感電の原因となります。必ず電源プラグを持って、抜いてください。	 引っ張り禁止
濡れた手で電源プラグやコード類、コンセントを触らないこと 感電や機器の故障の原因となる場合があります。	 接触禁止
本機を長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと 万一故障した場合、火災の原因となる場合があります。	 電源プラグ
ディスクトレイから内部に手を入れないこと 指を挟みケガの原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 禁止
異常なディスク（変形、ひび割れ、キズ、接着剤等による補修）は使用しないこと 機器内部でディスクが高速回転します。機器の故障やケガの原因となる場合があります。	 禁止
主電源を入れる際は本体や接続機器の音量（ボリューム）にご注意ください。 最大音量の場合、大きな音が出て聴覚障害などの原因となる場合があります。	 指示
リモコンの電池を準備（交換）する場合、以下にご注意ください。 「指定外の電池を使用しない」「電池の仕様以外の方法で使用しない（推奨期限の厳守等）」 「極性（+/-）を間違えない」「使い切った電池をリモコンに放置しない」 ... など 正しく使用されない場合、液漏れ、破裂などにより、火傷やケガの原因となる場合があります。（※ご購入初期時に同梱されている電池は試用品です）	 指示

はじめに

安全上の注意

◎取り扱いに関すること

- 引越しなどで遠方へ運ぶときは、柔らかい布などで包み、本機に傷がつかないようにご注意ください。
- 殺虫剤や揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などと長時間接触させないでください。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 普段本機をご使用されないときは、ディスクを取り出し主電源のスイッチを切っておいてください。
- 本機を長時間ご使用されると機器内部基盤が多少発熱する場合がありますが故障ではありません。
- 長期に渡り未使用状態が続くと機器機能に支障がでる場合があります。

◎置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。グラグラする机や傾斜地など不安定な場所では使用しないでください。「倒れる」「落下する」などが起きてケガや故障の原因となる場合があります。
- 本機をテレビやラジオ、その他電子機器の周辺で使用すると、ノイズや電磁波などの干渉により映像や音声がかかるなどの症状がでる場合があります。このような場合は設置場所を他の機器と干渉しない場所に移動してご使用ください。

◎お手入れに関すること

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。汚れが取れたら乾いた布で水分をしっかりと拭き取ってください。
(注) ベンジン、シンナー等は使用しないこと。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 化学ぞうきんをご利用される場合はその注意書きにしたがってください。

◎日本国内用／一般家庭用機器です

- 本機は日本国内で使用することを前提に製造されております。また一般家庭用機器として製造されております。日本国外での使用、業務用途、異常な連続使用などは行わないでください。

◎結露（露付き）について

- 結露は機器を傷めます。結露が起きそうな場所や条件下でのご使用にはご注意ください。
(参考) “結露”はこんなときにおきます。
 - ◇ 寒暖の差が激しい季節（特に車内や締め切った部屋など）
 - ◇ 機器を寒い場所から急に暖かい場所に移動したとき
 - ◇ エアコン / ストーブ / その他冷暖房などにより部屋の室温が急に変化したとき
 - ◇ エアコン / ストーブ / その他冷暖房の風が直接あたる場所
 - ◇ 湿度の高い部屋で使用したとき
- 結露が生じて本機に水滴が付いた場合、
「電源（コンセントなど）」「アダプター」「電源プラグ」を接続し、暫く放置します。機器内部の温度が上がり、水滴がとれます。（※2～3時間 ※使用場所や環境により時間は異なります）

はじめに

付属品リスト

◎本機をご使用いただく前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

 <p>●本体</p>	 <p>●リモコン (試用電池付)</p>	 <p>●AC アダプター</p>	 <p>●シガーソケット アダプター (12V 車専用)</p>
 <p>●AV 接続コード (RCA) (Φ3.5mm)</p>	 <p>●イヤホン (Φ3.5mm)</p>	 <p>●取扱説明書 (本書)</p>	 <p>●製品保証書</p>
 <p>●TV 受信用 簡易アンテナ (屋外用)</p>	 <p>●B-CAS カード</p>		

※リモコン付属の電池はテスト用の試供品です。早めに新品と交換してください。

※シガーソケットアダプターについて ...

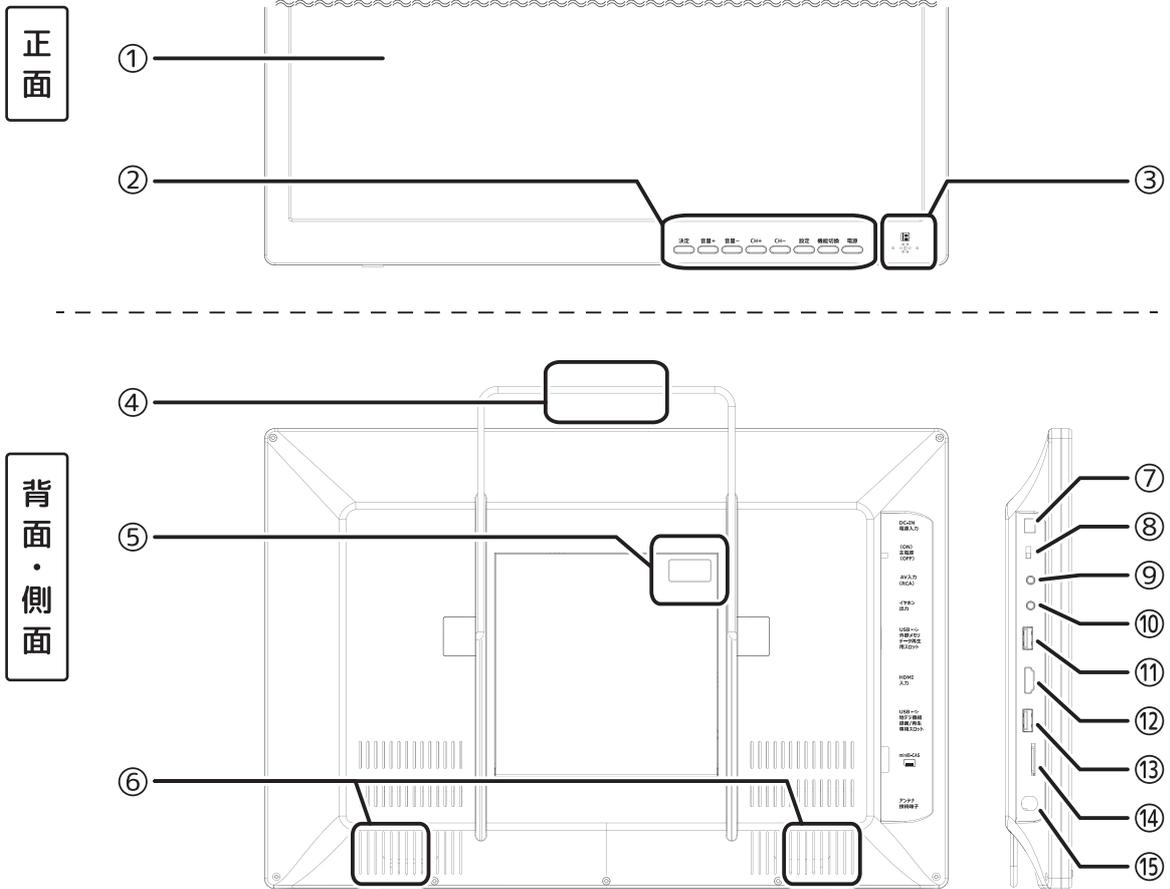
- お車でご使用の際は、安全な場所に停車してからご使用ください。
- お車と接続する際は、エンジンをかけてから接続してください。
- 当アダプターは DC12V バッテリー仕様の自動車専用です。
- 当アダプターはマイナスアース車専用です。
- 当アダプターの形状は一般的な車のシガーソケット形状に合せたものです。車側のソケット部仕様によっては取付けられない場合があります。

※TV 受信用簡易アンテナについて ...

- 本製品付属のアンテナは屋外用の簡易的なアンテナです。ブースター等は非搭載の為、設置場所によっては受信（視聴）できない場合があります。特に初期設定（チャンネル登録など）を行う際はスキンの失敗や登録漏れを防ぐ為、受信感度の高いアンテナと接続して設定を行ってください。

※イラストは説明用のものです。実物とは異なる場合があります。

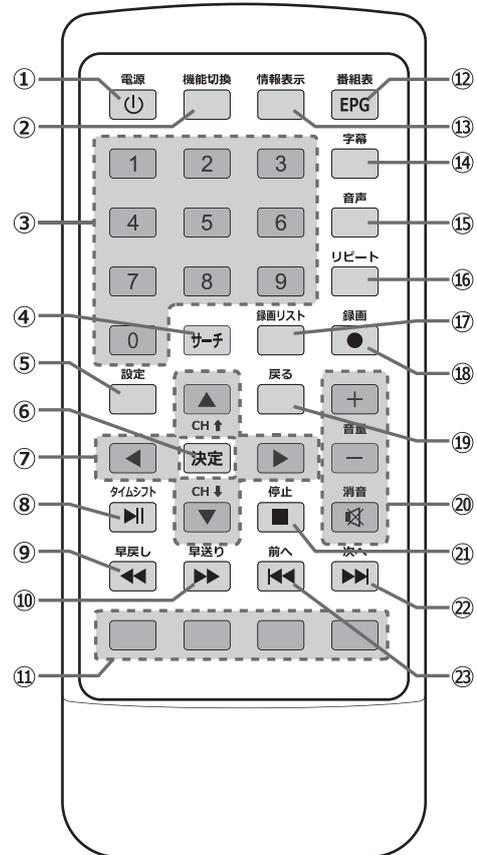
各部名称 (本体)



- ① 液晶パネル
- ② 操作ボタン (※左から[決定][音量(+/-)][CH切換(+/-)][設定][機能切換][電源])
- ③ 状態表示ランプ / リモコン受光部
- ④ スタンド
- ⑤ ディスクトレイ / 開スイッチ
- ⑥ スピーカー
- ⑦ 電源入力
- ⑧ 主電源スイッチ
- ⑨ AV入力(RCA)
- ⑩ イヤホン出力(Φ3.5mm)
- ⑪ メディアプレーヤー用USBポート
- ⑫ HDMI入力
- ⑬ 地デジ番組録画用USBポート
- ⑭ miniB-CASカードスロット
- ⑮ アンテナ入力

各部名称 (リモコン)

- ① 電源 : 電源を入れる⇔消す(※スリープオン/オフ)
- ② 機能切換 : 入力ソース(モード)の切換
(DVD→HDMI→テレビ→AV→USB)
- ③ 数字キー : チャンネル選局や設定時の数字入力
- ④ サーチ : (TVモード)接続したアンテナで
受信可能な放送局をサーチ
- ⑤ 設定 : (DVD/他モード) 本体設定表示
(TVモード)TVモード用設定表示
- ⑥ 決定 : 選択項目の決定/実行
(TV番組視聴中)登録局リスト表示
- ⑦ 十字キー(▲▼◀▶)
: 設定や番組表のカーソル移動
(TVモード)登録チャンネル切換(▲▼)
- ⑧ 再生/一時停止(タイムシフト)
: ディスクやデータを再生/一時停止
(TV番組視聴中)タイムシフト機能
- ⑨ 早戻し : ディスクやデータの早戻し
- ⑩ 早送り : ディスクやデータの早送り
- ⑪ [赤][緑][黄][青]
: 番組表使用時や録画データ再生時に使用
- ⑫ 番組表 : 視聴中CHのEPG番組ガイドを表示
- ⑬ 情報表示 : (TV番組視聴中)「1回押す:番組名表示」「2回押す:詳細情報表示」
(USBモード)データ再生中:操作ガイド表示
- ⑭ 字幕切換 : 字幕の切換
- ⑮ 音声切換 : 音声の切換
- ⑯ リピート : リピート機能の設定
- ⑰ 録画リスト : (TVモード)録画リストを表示
- ⑱ 録画 : (TV番組視聴中)ダイレクト録画
- ⑲ 戻る : 一つ前の操作に戻る
- ⑳ 音量調整(+/-)・消音
- ㉑ 停止 : 再生中のディスクやデータを停止・(番組録画中など)録画中止の確認
- ㉒ 次へ : 再生中データの一つ後のデータに移動
- ㉓ 前へ : 再生中データの一つ前のデータに移動



リモコンについて

(電池交換 / 使用方法)

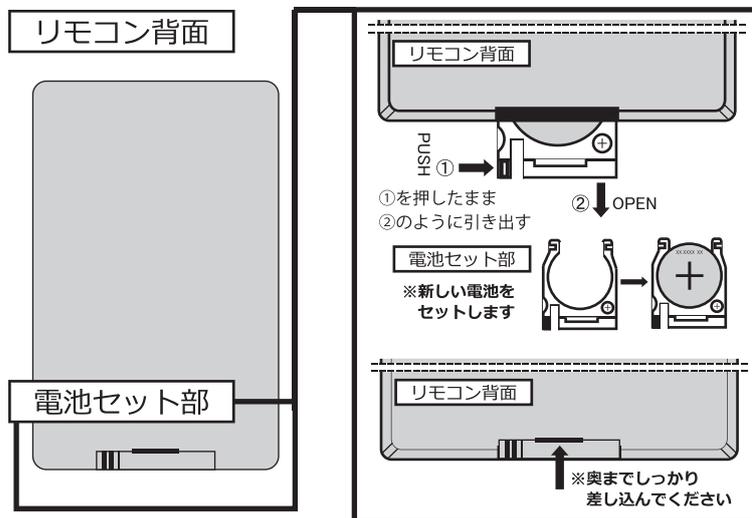
◎リモコン用の電池について

- リモコン用電池の規格型番は「CR2025」(ボタン電池)×1個です。
電池をご用意いただく際は型番をご確認の上お買い求めください。
- 製品お買い上げ時にセット(又は付属)された電池はテスト用試供品です。
早々に新品の電池と交換してください。



◎電池の交換方法

- ① リモコン背面下部の電池カバーを図を参照に取り外す。
- ② 古い電池を取り出し、新しい電池と交換。
※電池の向きに注意!
- ③ 電池カバーを取り付け直す。

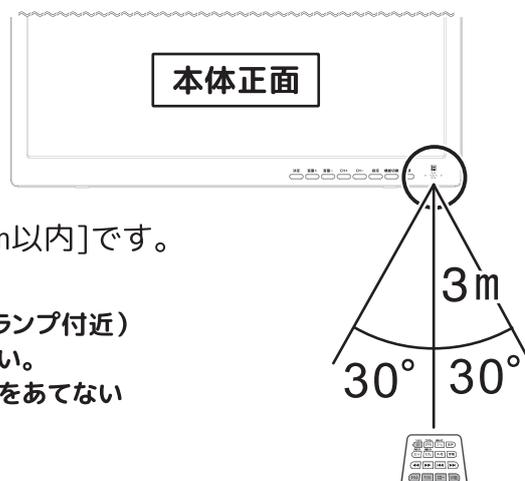


※電池交換作業を行う場合、電池セット部のツメ折れやキズなどには十分ご注意ください。

◎リモコンの使用方法

- リモコンを使用する場合、「赤外線照射部(リモコン側)」を「リモコン受光部(本体側)」に向けて操作します。受光角度は $[\pm 30^\circ]$ 、距離は[3m以内]です。

※本体側リモコン受光部は画面右下にあります。(状態表示ランプ付近)
※リモコンと本体の間に障害物等がないことをご確認ください。
※リモコン側照射部や本体側受光部に太陽光などの強い光をあてないでください。正常に作動しない場合があります。



機器の準備

設置する

◎本機を安全にご利用いただくために下記注意事項をお守りください。



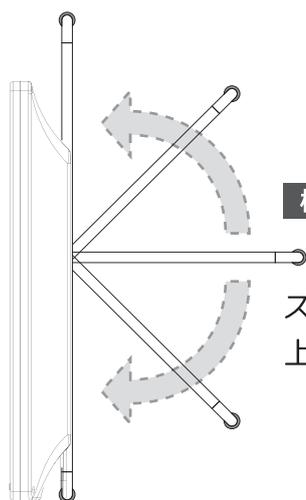
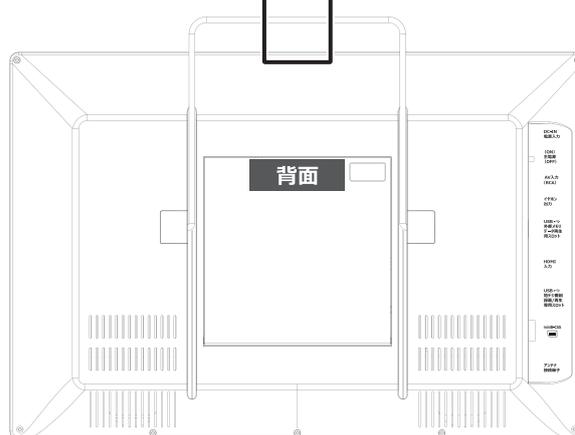
- * 本機には「Li-PO (リチウムイオンポリマー) 充電電池」が内蔵されています。(参照:P.45) 極端に温度や湿度が高い(又は低い)場所には常設しないようご注意ください。特に、車でご利用される場合、「車内への放置」などは大変危険ですので、絶対に行わないでください。
- * 付属の車用DCアダプターは《屋外などで本機をご利用される場合の電源供給用サービス品》です。「運転席付近への設置」や「運転中の使用/操作」は事故等の原因となる恐れがあり大変危険ですので絶対に行わないでください。

- 据置き(または吊下げ)用のスタンドは背面にあります。

□部分からスタンドアームを引き出します。

*据置き(立掛け)設置の場合、
お好みの角度に調整してください

*吊下げ設置の場合、
別途S字フックなどをご用意ください



横から見た場合 ...

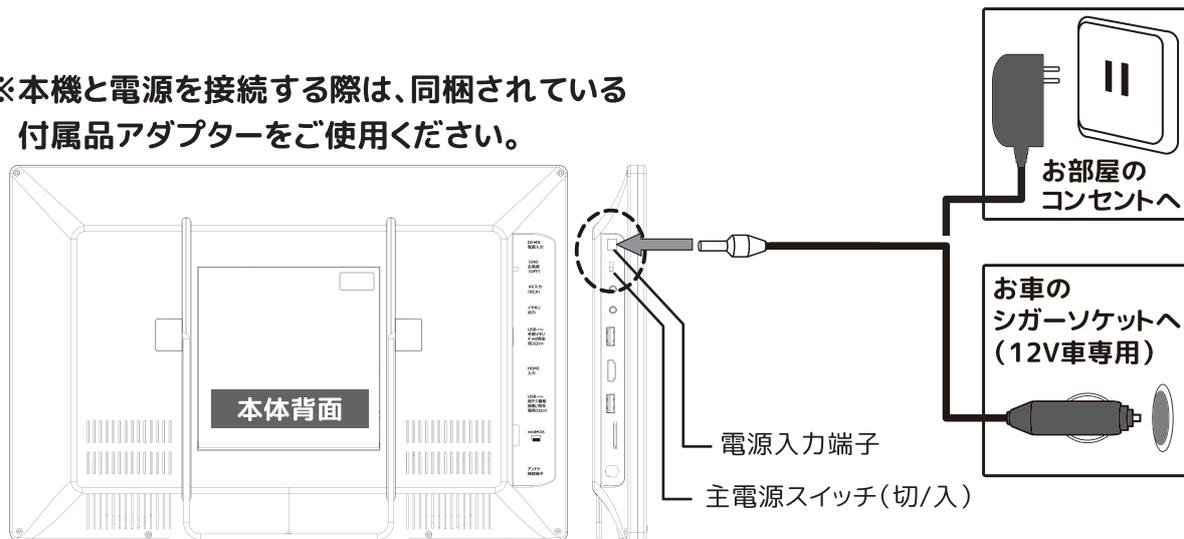
スタンドアームは
上下に180°動きます

電源の接続 / 状態表示ランプ

◎電源の接続

- ① 本体側面端子部にある「主電源スイッチ」がオフ（切）であることを確認します。
- ② 本体側面端子部にある「電源入力端子」と「電源アダプター（AC 又は DC）」と「電源（コンセントやシガーソケット）」をそれぞれ接続します。
- ③ 状態表示ランプ（リモコン受光部付近）で本機に通電されたことをご確認の上、本体側面端子部にある「主電源スイッチ」をオン（入）にします。

※本機と電源を接続する際は、同梱されている付属品アダプターをご使用ください。



⚠️ ご注意ください

- ※各端子やケーブルとの接続は、本体の主電源がオフ（切）の状態で行ってください。
- ※AC アダプターは必ず付属品のもをご使用ください。
- ※車載用 DC シガーアダプターは「12V」車専用です。24V バッテリー車等では使用できません。
(アダプターや本体に過度の電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)
- ※車載用 DC シガーアダプターはお車のエンジンをかけた状態で取付けてください。
(シガーアダプターを接続したままエンジンをかけると、スタート時に過度な電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)
- ※エンジン停止中は車載用 DC シガーアダプターをお車のプラグから外してください。
(お車のバッテリーを消耗し続け、残量低下などの原因となる場合があります)

◎状態表示ランプ … 本体正面（液晶パネル側）の右下に状態表示ランプがあります。

- *通電/充電ランプ：電源(AC・DC)を接続すると点灯するランプ
(充電中：赤点灯 / 満充電時：緑点灯)
- *主電源確認ランプ：主電源のオン/オフを確認するランプ
(主電源オン：緑点灯) ⇔ (主電源オフ：消灯)



(ヒント) リモコン操作による電源オン/オフ操作では主電源は切れず、主電源確認ランプは緑点灯となります。
(リモコンはシステムスリープのオン/オフを行います)

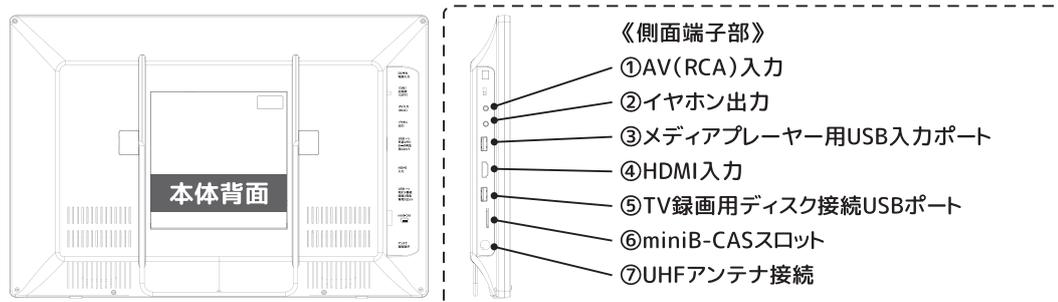
外部機器の接続 / 入力ソース切換

◎外部機器の接続

本機を外部モニターとして利用する場合:「HDMI出力対応機器」「RCA出力対応機器」

本機をメディアプレーヤーとして利用する場合:「USBメモリースティック」など

本機で地デジテレビ番組を録画する場合:「外付けUSBメモリー」など



- ① 付属品[AVケーブル]を利用して外部機器と接続してモニターとして利用する
- ② イヤホンやヘッドホン等で音を聴く
- ③ 入力ソース【USB(メディアプレーヤー)モード】でメモリーに保存されたデータを再生(視聴)する
- ④ HDMI出力機器(BDプレーヤーや一部スマホなど)との接続してモニターとして利用する
- ⑤ 地デジTV番組を録画保存するためのディスク(メモリー)を接続する(※詳細:P15)
- ⑥ 付属品[miniB-CASカード]を取付ける(※詳細:P18)
- ⑦ 地デジTV番組を視聴するための外部アンテナを接続する(※詳細:P19)

(注)・「HDMI 接続ケーブル」「記録メディア (USBメモリーなど)」は
付属品ではありません。ご利用される場合はその仕様をご確認の上、別途ご用意ください。

(注)・付属品のリモコンは本機操作専用です。外部機器側の設定や操作はできません。

(注)・AV (RCA) 接続を行う場合、必ず付属品の AV ケーブルをご利用ください。
他の同じ形状の物でも、ピンジャック端子の仕様等が異なり正しく作動しない場合があります。

⚠️ ご注意 (ご確認) ください

※外部機器との接続を行う際は電源プラグを外してから接続してください。特に記録メディア等を接続する場合、メディアや保存データの破損 / 消失が起こる場合がありますのでご注意ください。

◎入力ソースの切り換え (モード切換)



- 電源オンの状態でリモコン (又は本体) の「機能切換」を押すと <モード切換タグ> が表示されます。

→ 「▲/▼」でカーソルをご利用されるソース名に移動させ、「決定」を押します。

(ヒント) 表示を消す場合、再度「機能切換」を押します。

機器の調整（機器設定メニュー）

〈機器設定メニュー〉から機器の調整を行う

- ◎ [DVD][HDMI][AV][USB]の各モードで、本体又はリモコンの「設定」を押すと〈機器設定メニュー〉が表示されます。

(*1) [テレビ]モードでの「設定」ボタンは〈TVモード設定メニュー(P.26)〉が優先されます。
[テレビ]モードで機器設定を行う場合は下記操作を行います。

「機能切換」を押し〈モード切換タグ(P.13)〉を表示 ⇒ タグ表示中に「設定」を押す

- メニュー表示後のボタン操作

「◀/▶」：項目の切換（映像⇔音声⇔設定）

「決定」：選択の実行（又は次の選択肢へ進む）

「▲/▼」：カーソル移動

「本体設定」：一つ前へ戻る

「戻る」：メニューを閉じる

機器設定メニュー



◎ 機器設定メニュー・項目詳細

- 画面設定：
 - ① 映像モード選択 >> 標準 / ソフト / ユーザー (*2) / ダイナミック
 - ② 色温度 >> 標準 / ウォーム / ユーザー (*2) / クール
 - ③ 画面サイズ（アスペクト比） >> ※選択肢 (*3) は下記参照
- 音声設定：
 - ① 音声設定 >> 標準 / 音楽 / 映画 / スポーツ / ユーザー (*2)
 - ② バランス >> -50 ~ 0 ~ 50
- その他：
 - ① 言語設定 >> 日本語 / 英語 / その他(※合計6言語)
 - ② 工場初期化設定 >> 実行しますか? (→はい / いいえ)

(*2) 「映像モードや色温度」「高音や低温の調整」は選択肢を〈ユーザー〉に変更後の上、設定します。

(*3) 画面表示サイズ(アスペクト比)は各モードで設定項目が異なります。

*DVDモード：自動(オート) / 4:3 / 16:9 / ｽﾞｰﾑ1 / ｽﾞｰﾑ2

*HDMIモード：自動(オート) / 4:3 / 16:9 / ｽﾞｰﾑ1 / ｽﾞｰﾑ2

*テレビモード：自動(オート) / 4:3 / 16:9 / ｽﾞｰﾑ1 / ｽﾞｰﾑ2

*AVモード：自動(オート) / 4:3 / 16:9 / ｽﾞｰﾑ1 / ｽﾞｰﾑ2

*USBモード：自動(オート) / 4:3 / 16:9

※〈機器設定メニュー〉表示は無操作の場合、数秒で消えます。

外部メディアについて

本機でご利用いただけるメディア（メモリー/ディスク）

- ◎ 本機には外部メディア（メモリー/ディスク）用のUSBポートが2ヶ所あり、それぞれ用途や仕様が異なります。外部メディア（メモリー/ディスク）をご利用される際は、下記参照の上、用途に合わせた仕様のものを別途ご用意ください。
（注）外部メディア（USBメモリーなど）は付属品ではありません。

- 地デジ放送番組の録画に関する用途としてご利用される場合...

*標準規格：USB2.0

*推奨容量：～ 500GB

※外付けHDD（ハードディスク）の場合『電源供給型』のものを推奨

- メディアプレーヤーとして外部メモリー保存データを再生（視聴）される場合...

*標準規格：USB2.0

*推奨容量：～ 32GB

※USBメモリースティックなど容量の小さいメディアを推奨

⚠ ファイルシステム形式をご確認ください

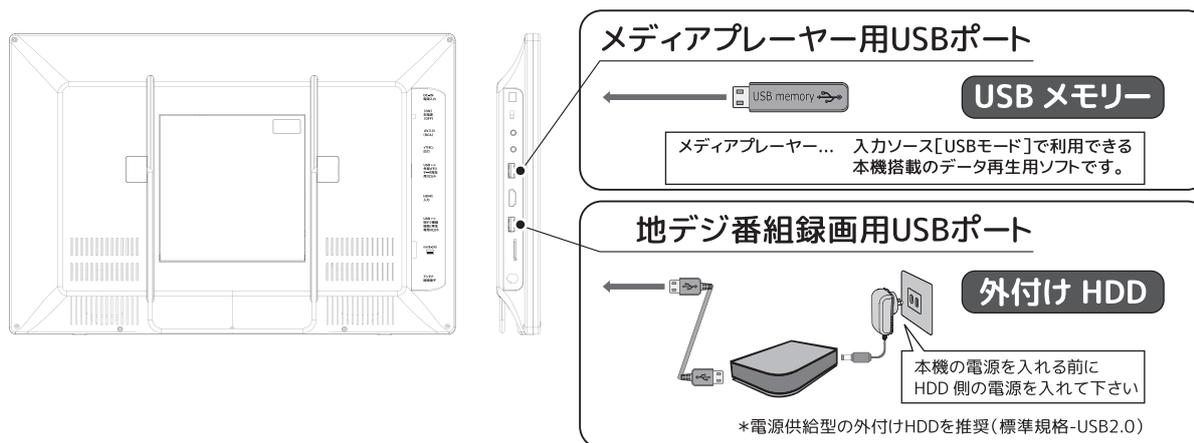
※本機でご利用可能なメディアのファイルシステム形式（フォーマット）は【FAT32】又は【NTFS】です。その他の形式（exFAT など）でフォーマットされたメディアは正しく認識されません。

特に大容量のメディアをご用意いただく場合、仕様をご確認ください。

※外部メディアに関する動作保証やサポートは行っておりませんので予めご了承ください。

メディアの取り付け

- ◎ 下図参照の上、用途に合わせた外部メディア（メモリー/ディスク）を取り付けます。



⚠ 設置するポート（端子）について

※外部メディアを、用途とは逆のポートに取付けた場合、各モードの利用はできません。

上下にあるUSBポート形状が同じ物（USB/Type-A）な為、ポートの取り違えにご注意ください。

再生可能ディスク (DVD/CD)

ディスクの取扱いと用語

◎再生可能なディスク

本機では、下記のディスクを再生することができます。

		(リージョン)	記録内容	サイズ
DVDビデオ	DVD DVD-VIDEO DVD-R DVD-RW	 	映像 (動画) + 音声	12cm
音楽用 CD	 		音声	12cm

本機では、下記のディスクを再生することができます。

- DVDビデオフォーマットのDVDソフト・DVD-R/RW
- VR モードで地デジ放送を録画し、ファイナライズ処理された CPRM 対応ディスク
- ビデオモードでアナログ放送を録画し、ファイナライズ処理された DVD-R/RW
- CD-DA フォーマットの音楽用CD・CD-R/RW
- MP3、WMA、JPEG の各形式でデータ保存された CD-R/RW

※上記ディスクであっても、録画に使用した「DVDレコーダー」「ディスク」と本機との互換性や相性により再生できない場合があります。ご了承ください。

※パソコンや DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスクや極端に短い時間の動画 / 音楽データは再生できない場合があります。ご了承ください。

※ H.264 / MPEG4AVC 形式のファイルは非対応です。

※本機は NTSC テレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式 (PAL, SECAM) 表示のディスクは非対応です。

※ DVD±R DL には対応していません。また MP3 などのデータはコーデックエラー等により再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理が施されていないディスクは再生できません。

* CPRM について ...

CPRM とは Content Protection for Recordable Media の略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクに記録 (録画) して再生する為には、CPRM 対応ディスクと再生機器が必要になります。

* ファイナライズ処理について ...

ファイナライズとは、データを記録 (録画) する機器 (DVDレコーダー) とその他の再生機器 (本機) との互換性を持たせるために必要な処理のことです。DVDレコーダーでディスクに録画しても、ファイナライズ未処理の場合、録画したレコーダー以外の機器では再生することができません。

(ヒント) ファイナライズ処理は「データを記録 (録画) する側の機器」でのみ実施することが可能です。

再生可能ディスク (DVD/CD)

ディスクの取扱いと用語

◎ディスクに関する用語

一般にDVDビデオディスクは「タイトル」という大きな区切りと「チャプター」という小さな区切りに分かれています。音楽CDは「トラック」で区切られています。

- タイトル : DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの
- チャプター : タイトルの内容を場面や曲ごとに小さく区切ったもの
- トラック : 音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったもの

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」などといいます。(ディスクによっては番号が記録されていないものもあります)

◎ディスクの取り扱いかた

- ディスクの再生面には手を触れないこと
- ディスクに紙やシールなどを貼らないこと
- ディスクの再生面が汚れると、データ読込みに支障をきたし、画像の乱れや音質低下の原因となります。
指紋やホコリなどの汚れは柔らかい布などでディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- 汚れがひどいときは、水や薄めた中性洗剤を使い、柔らかい布で軽く拭き取った上で、乾いた布で仕上げます。



◎ディスクの保管について

- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所には保管しないこと
ディスクが変形したり記録データが破損する場合があります。
- ディスクはキズや汚れが付かないよう、専用のケースに入れて保管してください。

◎初めて本機をご使用されるときは ...

- はじめて本機でディスクを再生する場合、はじめにディスクトレイ内部にある「レンズ保護カバー」を取り出してください。(素材：紙)

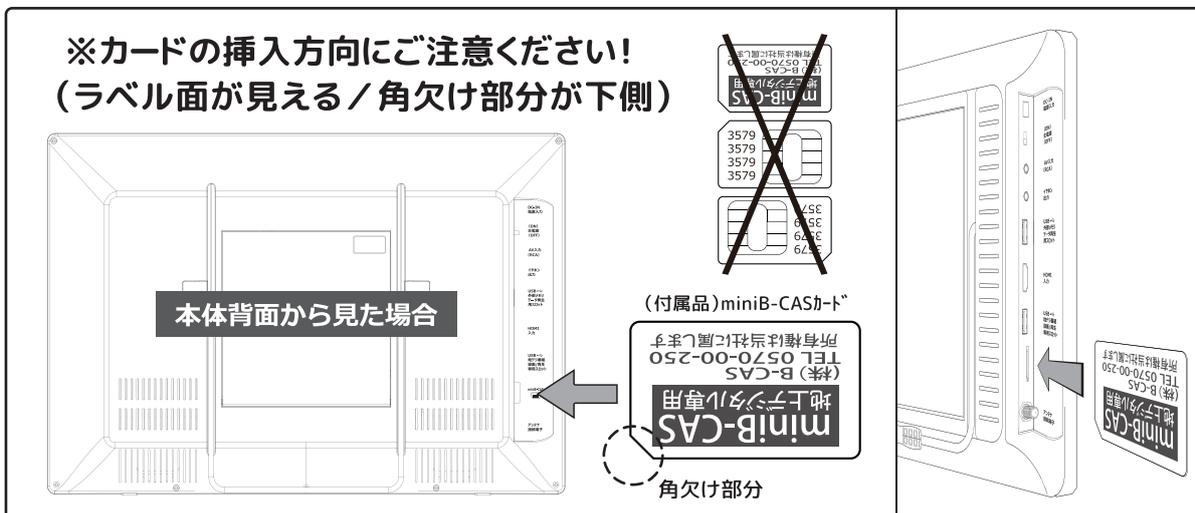


※図の保護カバー（紙製）以外のトレイ内部のもの（レンズやコード類など）は全てディスクの読取りに必要なパーツです。無理に取り出さないようご注意ください。

機能①-1 地デジテレビの視聴

B-CAS の準備

- 地デジ放送をフルセグサービスで視聴する場合、B-CAS（miniB-CAS）カードの常設が必須です。下図ご参照の上、正しく装着してください。



- ① 付属品として同梱されている「miniB-CAS カード」を台紙から取り出します。
- ② 本体背面を見て右側端子部ある miniB-CAS 挿入口を確認します。
- ③ 図を参照に「ラベル面が見える」「角欠け部分が下側」の方向に真っすぐに押し込みます。（奥まで入ると「カチッ」と音が鳴りカードが固定されます）
 （注）誤った方向に差し込むとカードや機器が故障する場合があります。
 カードの挿入方向を間違えないようにご注意ください。
- ④ カードを取り出す場合、カード中央部をツメなどで押し込みます。
 （バネの力で押し戻されてカードが排出されます）
 （注）カードの取付けや取り出しの際は急に手を離さないでください。
 内部のバネの力でカードが飛び出して紛失する恐れがあります。



- （参照）B-CAS カードの取扱いに関する詳細はカード封入用紙をご確認ください。
 B-CAS カードの破損・故障・紛失などに関するお問合せ先は下記の通りです。
 (株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステム / B-CAS カスタマーセンター
 TEL : 0570-000-250

⚠️ ご注意（ご確認）ください

- ※地上デジタル放送サービスにはフルセグ放送サービスとワンセグ放送サービスがあります。
 フルセグ放送サービスをご視聴される場合「B-CAS カード（付属品）」の取付けが必要です。

アンテナの準備

■地デジ放送受信アンテナとの接続

- 地デジ放送サービスのご視聴には受信アンテナとの接続が必須です。
各端子の形状などに注意して正しく取り付けてください。

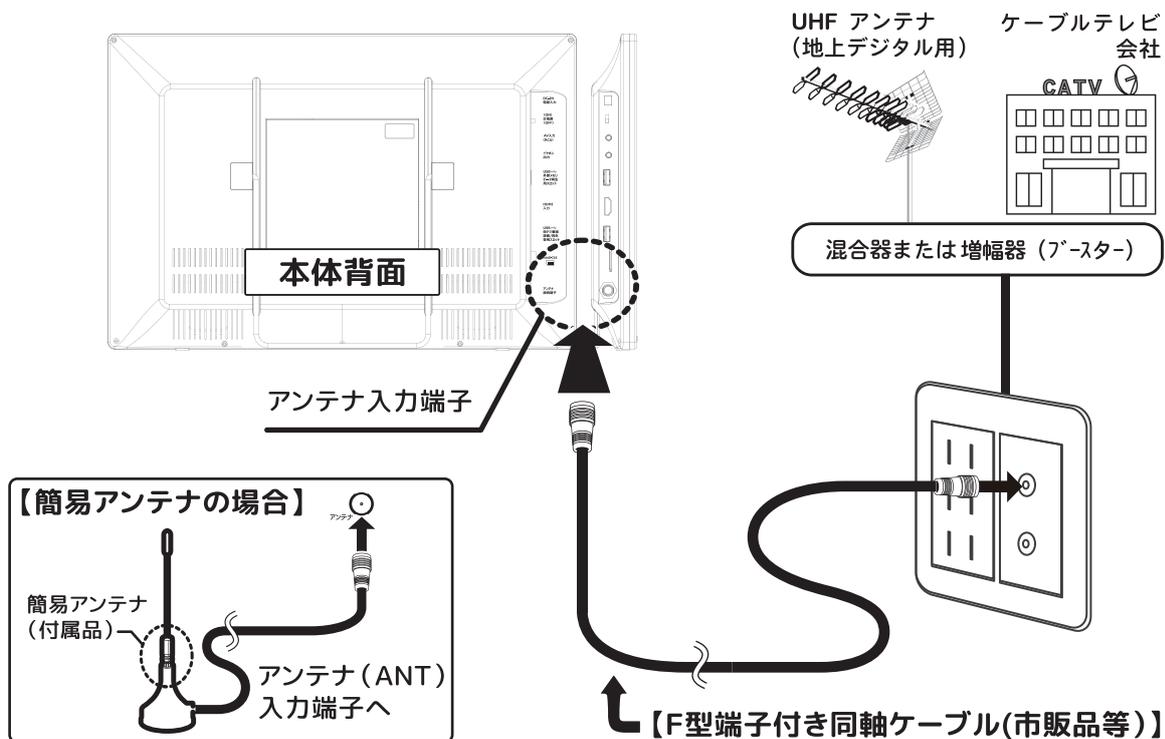
本機のアンテナ接続用端子の形状は〈F型〉です。
別途電気店などで市販されているアンテナ接続用ケーブルをご用意いただく際は
「F型端子（コネクター）付きの同軸ケーブル」をお買い求めください。



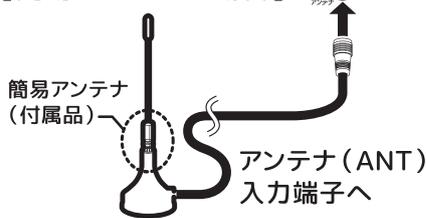
【F型端子付き同軸ケーブル（市販品等）】

（ヒント）

ご購入いただく前に予め本機の設置場所を決め、
アンテナ供給口から本機までの距離を測ります。
必要な長さのケーブルをご用意ください。



【簡易アンテナの場合】



⚠️ ご注意（ご確認）ください

- ※本機は一般的なUHFアンテナとの接続により地デジ放送番組をご視聴いただけます。
CATV（ケーブルテレビ）各社や共聴システムから伝送された放送波をご利用される場合、
伝送方式をご確認ください。本機では同一周波数パススルー方式で伝送された地上波放送の
各番組をご視聴いただけます。
（同一周波数パススルー方式：テレビ局の電波周波数帯域をそのまま伝送される方式）
- ※アンテナ線を他の電気機器等に近接しないでください。受信障害の原因となることがあります。
- ※付属品アンテナでは、他の機器（携帯電話やラジオなど）でTV視聴ができる場所でも、本機
でご視聴ができるとは限りません。予めご了承ください。

放送局 (CH) の登録

◎お買い上げ初期時やお引っ越し等により設置地域を移動した場合、その場所で視聴ができる放送局の登録が必要です。



〈システム起動中画面〉
画面表示が切り換わるまでしばらく待ちます



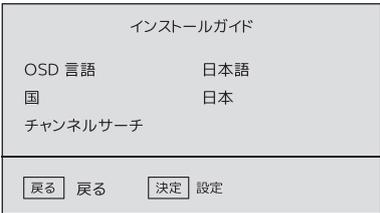
〈インストールガイド〉の場合、
「決定」ボタンを押します。
(CH サーチを開始します)



〈CH サーチ〉開始の場合、
スキャン終了までそのままお待ちください。

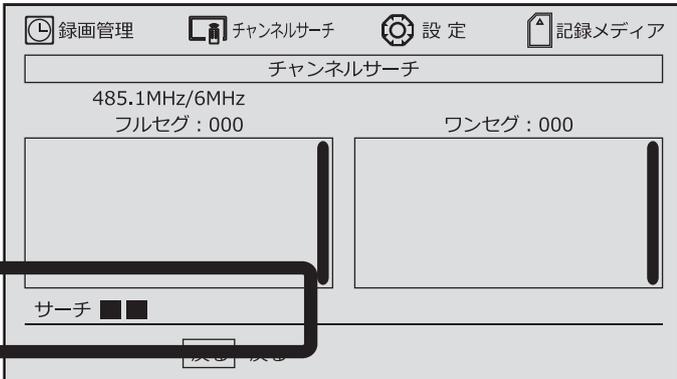
- ① 主電源をオン (入) にして画面表示 (上図) を確認します。
- ② 〈インストールガイド〉が表示された場合はガイド項目を確認します。
確認後にリモコン (または本体) の「決定」ボタンを押します。
- ③ 登録可能な放送局の自動検索 (チャンネルサーチ) が終わるまで暫く待ちます。
- ④ 放送局の検索 / 登録が終わると、登録された番組放送が始まります。

(参照)CH検索～登録設定の流れ



インストールガイド
OSD 言語 日本語
国 日本
チャンネルサーチ

戻る 戻る 決定 設定



録画管理 チャンネルサーチ 設定 記録メディア

チャンネルサーチ

485.1MHz/6MHz
フルセグ : 000

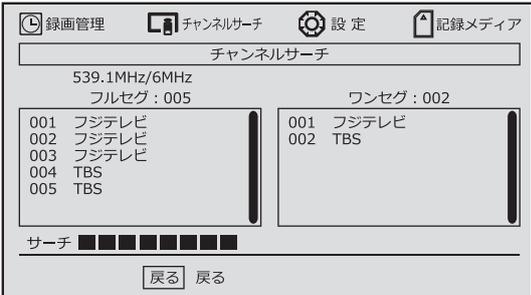
ワンセグ : 000

サーチ ■■■

※インストールガイド表示の際は「決定」ボタンで次へ進みます

※CH検索中は上記枠内のメモリが左から徐々に増えていきます。検索が終了するまで暫く時間がかかりますのでお待ちください。

※アンテナが放送局を受信できた場合、放送サービス (フルセグ / ワンセグ) ごとに振り分けて自動で登録していきます。



録画管理 チャンネルサーチ 設定 記録メディア

チャンネルサーチ

539.1MHz/6MHz
フルセグ : 005

ワンセグ : 002

001 フジテレビ	001 フジテレビ
002 フジテレビ	002 TBS
003 フジテレビ	
004 TBS	
005 TBS	

サーチ ■■■■■■■■■■

戻る 戻る



次ページへ

放送局（CH）の登録

◆ 放送局が登録された場合 ◆

- ※CHサーチ終了後、登録された番組放送が自動で始まります。
- ※受信レベルに応じた放送サービス（フルセグ又はワンセグ）で表示されます。（放送サービスの優先度の設定については P.23 / P.26 をご参照ください）



■ 登録局の確認（チャンネルリスト）

番組放送中に「OK(決定)」を押すと登録放送局のリストが表示されます。リストに表示されていない放送局はご視聴いただけません。登録漏れなどをご確認ください。

※リスト表示中の操作

「◀▶」：ワンセグ⇄フルセグのサービス切換え

「▲▼」：登録局選択タグの移動 「OK(決定)」：視聴チャンネル切換え

◆ 登録が失敗した場合 ◆

- ※放送局の電波が正しく受信されずにCH登録が失敗した場合は画面表示が『インストールガイド』に戻ります。
- 下記をご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。

- テレビ受信に必要な各接続の確認（アンテナ / B-CAS / 電源）
- アンテナの状態の確認（設置場所や方向・CATV等の場合は伝送方法など）
- アンテナ受信レベルの確認（P.22 参照）

（注）屋根に設置されたアンテナの交換や方向調整などの作業は危険を伴いますので、電気店やアンテナ設置専門業者等にご相談ください。
集合住宅などの共同アンテナでブースターや減衰器などを増設する場合、他の部屋に影響がでる可能性がありますので、事前に管理者等とご相談ください。

⚠️ ご注意（ご確認）ください

- ※本機は一般的な UHF アンテナとの接続により地デジ放送をご視聴いただけます。
インターネット回線との接続による受信環境には対応しておりませんので予めご了承ください。
- ※CATV（ケーブルテレビ）会社や共聴システム等で伝送されている場合、伝送方式によっては本機ではご視聴いただけない場合があります。詳しくはお住まい地域（又はご契約）の CATV 会社や共聴システムの管理者（マンション管理者など）にお問合せください。
- ※チャンネル登録作業や屋内等でのご利用の際は「受信力の強いアンテナ」との接続を強く推奨しております。付属品アンテナを利用した場合、「放送局が登録できない」「受信が安定しない」などが起こる場合があります。
- ※付属品アンテナを利用した場合、他の機器（携帯電話やラジオなど）でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りませんので予めご了承ください。
- ※受信力が高いアンテナ（共同アンテナなど）と接続してCH登録や視聴ができる場合は機器本体（TVチューナー）の故障ではありません。テレビ番組の視聴には「設置場所の電波環境が安定している」「アンテナが電波を正しく伝送できる」の条件が必要です。「付属品アンテナで視聴ができない」などのお問合せは対応いたしかねますので予めご了承ください。

アンテナ受信レベル

(アンテナの確認)

◎アンテナ受信レベルの確認

- 本機と接続したアンテナの受信レベルが低いと「映像が止まる（チラつく）」「音声がでない（途切れる）」「フルセグで視聴できない」などの事象が起きる場合があります。下記操作手順でアンテナ受信レベルの確認が可能です。

番組視聴中にリモコン「情報表示」ボタンを2回押すと下図が表示されます



→ 枠内の受信レベル表示バーをご確認ください。

- ※受信レベルが低い（約 20%以下）の場合やレベルが安定しない場合、本機と接続したアンテナの受信レベルが低い為、安定したご視聴が難しい状態です。アンテナ側の状態などをご確認ください。
- ※付属品の簡易アンテナをご利用されている場合、受信レベルが 30 ~ 40%以上で安定する場所を探してアンテナ部分を設置してください。（推奨受信レベル：50%以上）
- ※放送サービスの優先度が「自動切替」又は「フルセグ固定」に設定されている場合、受信レベルが低い場所では「画面のフリーズ」「音声がでない」などの事象が起きる場合があります。（優先度の変更は P.23 / P.26 をご参照ください）

⚠️ ご注意（ご確認）ください

- ※アンテナが正しく接続されていない場合、受信（視聴）はできません。
- ※建造物内、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔が無い（又は遠い）地域、地形、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、その他電波の受信に影響を及ぼす場所などでは受信（視聴）できない場合があります。
- ※デジタル放送は受信レベルが低下すると「映像が止まる（乱れる）」「ブロックノイズが出る」「音声がでない（途切れる）」など様々な事象が起こる場合があります。
- ※次の放送は受信（視聴）できません。
〈アナログ放送〉〈BS/CS 放送〉〈データ放送〉〈緊急警報放送〉
- ※放送エリアの目安は、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご参照ください。
- ※その他の不具合症状などが起きた場合、巻末のトラブルシューティングをご参照ください。

基本的な使い方

⚠️ ご注意 (ご確認) ください

※以下項目で記載する『ボタン』の名称 (「●●」) は、主に『付属品リモコン』のボタン名称を記載いたします。お手元に付属品のリモコンをご用意の上、ご参照ください。

電源を入れる / 切る (電源オン / オフ操作) ※詳細 P.12 参照

- 機器へ通電されている状態で「電源」ボタンを押します。
電源の状態は〈状態表示ランプ〉でご確認いただけます。

テレビ視聴モードを選ぶ (入力ソースの切換) ※P.13 参照

- 「機能切換」ボタンを押すと〈モード切換タグ〉が表示されます。
「▲/▼」ボタンでソースを選び「OK」ボタンで切り換えます。
(地デジ放送を視聴する場合は TV を選択します)

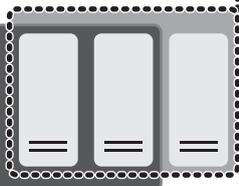


視聴チャンネルの切換 (選局する)

- 「CH+/-」ボタンを押すと登録局の主番号 * 順にチャンネルが切り換ります。
* 〈主番号〉とはCH番号 (3桁) の下1桁の数字が 1 の番号を示します (例: 051 / 081 など)
- 「数字」ボタン (2桁) を押すと指定チャンネル (主番号) に切り換ります。番組視聴中に「決定」ボタンを押すとチャンネルリスト (P.21) が表示されます。「▲/▼」ボタンでリスト内のCHを選び「決定」ボタンで切り換ります。
- ※チャンネルリスト表示中の「◀/▶」ボタンは放送サービスの切換 (フルセグ / ワンセグ)

チャンネル番号 (3桁)

リモコン
入力番号
(2桁)



(操作例)

【021】を選局する場合、

- ① 数字ボタン「0」「2」の順に押す
- ② 「CH+/-」で切り換える

【023】を選局する場合、

- ① 「決定」でチャンネルリストを表示
- ② 「▲/▼」で023にカーソルを移動
- ③ 「決定」で選局されます



地デジ放送サービス (フルセグ / ワンセグ) の切換え

- チャンネルリスト (P.21) から「◀/▶」で視聴する放送サービス (フルセグ / ワンセグ) を選択し、「▲/▼」で視聴する局にカーソルを移動して「決定」を押すと、選択したサービス / 放送局の番組が始まります。
※通常は TV モード設定メニューからデフォルト設定されたサービスが優先されます。
優先設定を変更する場合は TV モード設定メニュー (P.26) から変更します。

基本的な使い方

音量の調節 / 消音

- 音量の調整：「音量+/-」ボタンで音量を調節します。
- 消音（ミュート）：「消音」ボタンを押すと消音状態（音量0）に切り換えます。もう一度「消音」を押すと消音操作前の音量で出音します。

字幕 / 音声の設定切換

- 字幕の設定：「字幕」ボタンで字幕のオン / オフを切り換えます。
- 音声の設定：「音声」ボタンで音声の設定を切り換えます。
「▲▼◀▶」で（主）（副）（主+副）を選択後、「決定」で確定選択を確定してから「戻る」で番組視聴に戻ります。

※字幕 / 音声の設定はご視聴される番組によって操作や設定ができない場合があります

視聴番組の情報表示

- 番組をご視聴中に「情報表示」ボタンを1回押すと番組の簡易情報を表示します。
※簡易情報はしばらくすると消えます



- 簡易情報を表示中に、もう一度「情報表示」を押すと受信局の詳細情報が表示されます。
※★項目はワンセグサービス視聴時は「スキャン中」と表示されます



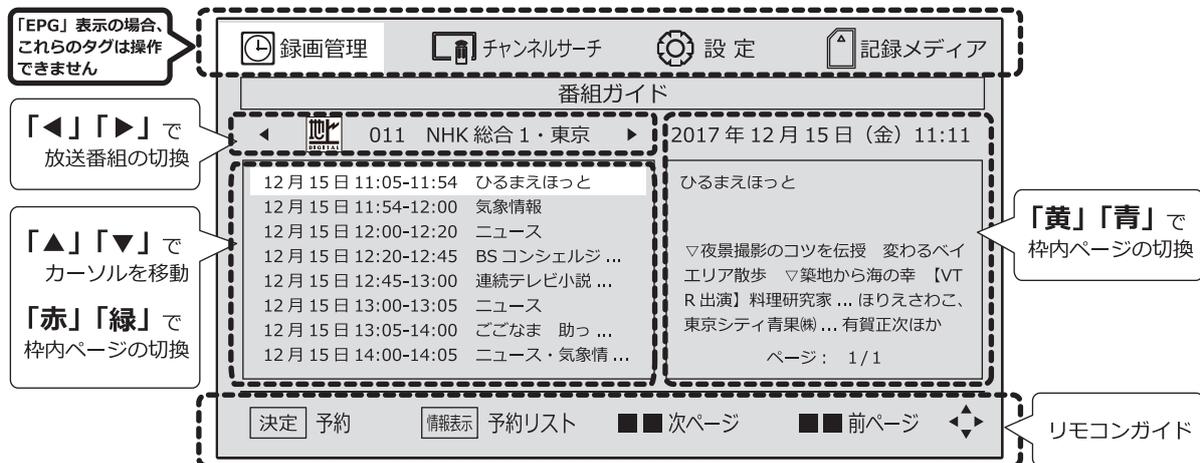
TV モード設定メニュー

TV モードの設定に関する詳細は P.26 をご参照ください。

電子番組ガイド (EPG) の利用

電子番組ガイド (EPG) の見方

- 番組視聴中に「EPG」ボタンを押すと番組ガイドが表示されます。(下図参照)



● 番組ガイド表示時のリモコン操作：

- *[◀][▶]：視聴(表示)チャンネルの切換え
- *[▲][▼]：画面左側のカーソル移動
- *[決定]：カーソルで選択した番組の録画を予約
- *[黄][青]：画面右側のページを切換え
- *[赤][緑]：カーソルで選択した番組の情報ページ(画面右側)を切換え
- *[情報表示]：録画予約した番組のリストを表示
- *[戻る]：前の操作に戻る

⚠️ ご注意(ご確認)ください

- ※番組ガイドの取得および画面表示には時間がかかる場合があります。(特にチャンネルサーチを行った後のガイドの取得や表示には時間がかかる場合があります)
- ※番組の中止/変更/延長等により実際の放送内容とは異なる場合があります。

電子番組ガイドから録画を予約する

- ①「EPG」ボタンでガイドを表示します。
- ②「◀/▶」で録画する放送局に切り換えます。
- ③「▲/▼/赤/緑」で録画を予約する番組にカーソルを合せ「決定」を押すと〈イベント追加〉画面に切り換ります。
- ④各表示項目を確認の上、「決定」を押すと予約が設定され、〈予約リスト〉が表示されます。



⚠️ ご注意(ご確認)ください

- ※録画機能を利用する場合、本機以外に記録用メディア(市販のUSBメモリーなど)が必要です。
- ※番組ガイドから録画予約を設定した後に、放送局の都合により番組放送時間の延長(中止)されても予約設定の自動変更は行われません。予約リストから手動で予約設定を編集してください。